



未来を拓く、なは☆ひとづくり、  
まちづくり、ゆめづくり

広 報 な は

# 那 覇

市 民 の 友

# 3

2025 Mar.  
No.890



那覇市長 知念 覚

## 「笑顔広がる元気なまちNAHA」

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。  
市長に就任後、全力で市政運営に取り組むなか、瞬間に2年が経過いたしました。この間、コロナ禍を経験した中での市民の価値観並びにライフスタイルの多様化をはじめ、生成AIの台頭によるデジタル化の進展など、私たちを取り巻く生活環境は目まぐるしいスピードで変貌を遂げております。

時代を見据えた市民ニーズに的確に対応していくためには、蛇が脱皮をするように、固定観念を破り、新たな成長に向けた大胆な舵取りが必要になってくると考えております。

県都那覇の揺るがない発展に向け、市民一人ひとりの声に耳を傾けていくとともに、官民連携の下、質の高い行政サービスを提供していくことが今後ますます重要になると確信しております。

確固たる思いを胸に、持続可能な未来を拓き、「笑顔広がる元気なまちNAHA」を実現させるため、市職員と共に全力で邁進していく決意でございます。

市民のみなさまにおかれましては、市政へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ゆたさるぐとう うにげーさびら。



市公式  
Instagram  
フォローしてね♪  
#なはとびで検索



市公式  
LINE  
友達登録は  
こちらから→



Catalog  
Pocket  
You can read this city  
newsletter in 10 languages.



FOREIGN  
RESIDENTS  
PORTAL





# 令和7年度 施政方針

## — 9つの基本姿勢 —

令和7年度の市政運営に対する基本的な考え方や主な事業について、その概要をご紹介します。施政方針の全文は、市HP（二次元コード）でご覧いただけます。

問 企画調整課 ☎862-9937



## 受け継がれた発展を未来につなぐ

10・10空襲により壊滅的な被害を受けた那覇市。しかし、先人たちは、逆境を乗り越え、国際通りの「奇跡の1マイル」をはじめとする復興を成し遂げました。その後も、那覇新都心の開発やモノレールの開通など、時代の流れを捉え、本市の発展にご尽力いただいた

先人に対し感謝と崇敬の念に堪えません。現在、民間が主導する「GW2050 PROJECTS推進協議会」への参画などを通して、輝かしい未来に向け、飛躍の年となることを思い描いています。先人の思いを胸に、本市の持続的発展に向け今後も果敢に挑戦してまいります。

### ・主な事業・

泊漁港等整備基本計画策定事業 71,612千円

泊漁港周辺地域一体が秘めるポテンシャルを最大限に引き出すことを目的とした「泊漁港将来像構想」の実現に向け「(仮称) 泊漁港等整備基本計画」の策定に取り組みます。



LRT導入推進検討事業 91,337千円

中心市街地、真和志地域、新都心地域を結ぶ基幹的公共交通としてのLRT導入に向けて、引き続き関係機関との合意形成に必要な調査などを行い、継続して協議を進めます。



## 平和を希求する想いを世界へ

今年は沖縄戦終戦から80年の節目の年です。「なぐやけの碑」には市出身の戦没者名簿が奉納されており、恒久平和のメッセージを世界に発信し続けています。昨年は、日本原水爆被害者団体協議会が、長年にわたり核兵器廃絶を訴え続けたことが世界に認められノーベル平和賞を受賞しました。私も、苛烈な地上戦を経験した沖縄に生きる者として、戦争の悲惨な記憶を風化させてはいけないという先人たちの揺るぎない信念を受け継ぎ、争いのない世界を訴えてまいります。

### ・主な事業・

日本非核宣言自治体協議会 4,775千円

本市が加盟し、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を発信することを目的として設立された「日本非核宣言自治体協議会」の総会を本市で開催します。



戦後80年記念事業 8,206千円

平和を希求する想いをより一層強く発信していくために、既存の恒久平和のモニュメント「なぐやけ」の周囲に、戦没者の慰霊と恒久平和の発信を表記した新たな刻銘を設置します。



## 備えることが安全の第一歩

近年、災害の危険性を身近に感じる出来事が続き、災害時の課題を再認識させられると同時に、災害への備えが今まで以上に求められています。本市では、避難所の整備に加え、防災講話や市民参加型の防災訓練などを通じて、防災意識の向上にも取り組んでいます。災害は、平時からの備えが重要です。市民のみなさまと一丸となり、防災・減災に向けて、安全安心なまちを構築してまいります。

### ・主な事業・

下水道耐震化事業 159,500千円

大地震時に下水道施設が破損しないように管きよの更新や、マンホールと下水道管の接続部を柔軟にする管口可とう化対策などの下水道施設の耐震化を進めます。



総合防災訓練実施事業 4,586千円

予測困難な災害に備え、防災関係機関および地域住民参加のもと、様々な手法で防災訓練を実施し、災害対応力の高いまちづくりを推進します。



## 未来を育む、心温かな子育て支援

すべての子どもを守り育むことは私たちの責務です。子どもたちが貧困や虐待に苦しむことなく幸せに育ち、学び、生活する権利を守るため、「(仮称) 子どもの権利条例」の制定に向けて取り組んでいきます。健やかに成長した子どもが、やがて社会を支える一員となり、より良い環境に発展させていく、子育てへの支援はその土壌となりうるものです。すべての子どもが、自分らしくのびのびと育ち、希望ある未来を描ける社会を目指してまいります。

### ・主な事業・

子供の貧困緊急対策事業 195,809千円

地域の子ども食堂や学習支援などを実施する団体への運営支援を通して、子どもの居場所づくりを支援します。



こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業 8,523千円

子育て支援を強化するため、利用可能枠の範囲内でライフスタイルに関わらず誰でも利用できる保育制度の創設を目指し、試行的事業を実施します。



## 洗練され、輝きを放つ 地域経済を目指して

観光コンテンツの造成に注力するとともに、「都市型MICE振興戦略」に掲げる地域資源の利用促進などの施策を官民連携により着実に推進します。また、企業におけるDX促進による労働生産性の向上や地域特産品の消費促進、中心市街地の賑わい創出など着実な地域経済の活性化につなげるため、積極的な経済施策を推進するとともに、独自の魅力を持つ市の特性を活かした地域経済の形成を目指します。

### ・主な事業・

WBSC U-18  
野球ワールドカップ支援事業 54,034千円

U-18野球ワールドカップの開催に向けて関係機関と連携し、国内外より誘客を図るとともに、市内の子ども達が世界に目を向けるきっかけとなる大会となるように取り組みます。



中心市街地商業等  
振興計画(仮称) 策定事業 10,060千円

中心市街地においては、商業と観光の両面の振興に資する「中心市街地商業等振興計画(仮称)」の策定に向けて取り組みます。





## 住み続けたいまちづくり

本市は、物流・人流の拠点としての地理的優位性を活かしつつ、地域資源を大切に育みながら、市民生活の向上を目指し、まちづくりを進めています。今後も人口減少・少子高齢化が懸念される中、先を見据えた持続可能なまちづくりと、都市の機能を高め、人が集まる付加価値を創り出すことが求められます。「誰もが訪れたい、住み続けたいまち」を目標に、都市機能と自然環境が調和した那覇の未来に向け、決断と実行を続けてまいります。

### ・主な事業・

人と猫との共生社会推進事業 7,874千円

なはねこサポーター制度の拡充や野良猫の糞尿被害等対策支援・不妊去勢手術実施により、人と動物との共生社会の実現を目指します。

民間活力を活かした公園活性化事業 5,953千円

パークPFI制度を活用して漫湖公園と新都心公園の供用を開始し、公園利用者の利便性向上および賑わいの創出に努めます。



完成イメージ図(漫湖公園)



完成イメージ図(新都心公園)

## 学びや成長を支える環境が未来につながる

本市では、教育環境を整えることが重要であると考えていることから、教職員の職場環境改善や心のケア、DX推進による業務負担軽減に取り組んでおり、引き続き対策の強化を進めてまいります。また、公約で掲げた県と連携した学校給食費の無償化については、中学校は完全無償化が実現します。さらに、小学校については、県に先行し本市が半額補助することを決断しました。小学校も含めた完全無償化を目指し、引き続き県へ要請し、分け隔てない支援が行き渡るよう取り組んでまいります。

### ・主な事業・

学校給食費支援事業 883,131千円

子育て世帯の経済的な負担を減らすため、中学校の給食費は、県補助に加え本市が半額を公費で支援し完全無償化します。また小学校の給食費については、保護者負担分の半額を支援します。



こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業 80,080千円

電子黒板などのICT機器を整備し、それらを活用した学習により児童生徒の学習意欲を高め、学習の質の向上を図ります。



## 健やかで笑顔があふれる暮らしを

本市では、市民のみなさまが生涯健康で過ごせるよう、食事や生活習慣についての講習、健診・保健指導だけでなく、経済的、家庭的な問題や精神的な要素など、一人ひとりの様々な課題に寄り添うことができる包括的な支援体制の確立をしっかりと進めてまいります。また、医療や医療を支える分野についても機能強化を図り、市民の健康と命を守るための環境を整えてまいります。

### ・主な事業・

生活習慣病予防健診・保健指導事業 5,849万円

20～30代の国保加入者以外で、BMI25以上の方を対象に従来の保健指導ではなく、ICTを活用した生活習慣病予防プログラムにより「肥満の改善」を図る取り組みなどを進めます。

那覇市立病院建替え事業等(複数事業有) 5,095,953千円

令和7年10月の開院に向け、医療機器整備など重点的に支援します。

那覇市救急搬送支援システム整備事業 4,996千円

タブレット端末を用いた救急搬送支援システムの運用を開始し、救急要請に対して更なる市民サービスの向上を図ります。



※訓練中の様子です。

## つながりが発展し、今、世界へ

本市は、市民とともに育むまちづくりを目指し、約30年にわたり「協働によるまちづくり」を進めてきました。そのような中、昨年、多様性を尊重し、寛容な社会の実現に向けて、国際連合大学と連携協定を締結しました。この協定が、地域課題解決の糸口となり、ひいては、SDGsの理念である、「誰一人取り残さない持続可能な開発目標」の達成につなげていきたいと考えております。市民のみなさまと紡いできた協働の「わ」が途切れることなく広がり続けるよう、「協働」の歩みを着実に進めてまいります。

### ・主な事業・

なはSDGs推進事業(多様なつながり地域づくり) 11,990千円

まちづくりの新しい手法ソーシャルインパクトボンド(SIB)を取り入れた「那覇市版SIB」の仕組みを用いて、社会課題の解決、持続可能な社会の実現を目指す協働活動を創出します。



男女共同参画計画推進事業 281千円

一人ひとりが豊かに暮らせる社会を目指して、令和8年度の「那覇市性の多様性を尊重する条例(仮称)」の制定に向けて取り組みます。



### 結びに

私は学生時代、暑い時も寒い時もひたすら白球を追いつけ、手にした一番の財産は、苦楽を共にした仲間との絆でした。今でも、会えば昔話に花が咲くとともに、私が得た大切なものを思い返させてくれます。

昨年、市議会において、ロサンゼルス・ドジャースをメジャーリーグワールドシリーズ優勝へと導いた、デーブ・ロバーツ監督をお迎えし、「那覇市特別栄誉賞」を授与いたしました。

ロバーツ監督は、多様な選手一人ひとりを大切に

し、各選手の最大限の力を引き出す能力に優れていると評されておりますが、お話しさせていただく中で特に印象に残ったのは、「沖縄の人々は、家族が全てであり、尊敬があり、愛があり、それが私自身であり、私の仕事の全てであり、私は沖縄の人々と共にあります」というフレーズでございました。その言葉に、監督自身がうちなんちゅの持つ寛容性を備え、それが世界にも通用する力になりうるものだというところに、改めて感銘を受けました。

今後、急速な社会情勢の変化や人々の価値観が多様化していく中であっても、なはに暮らし、働き、集う全ての人々が、お互いを尊び、絆を深め、笑顔に包まれながら市民生活が送れるよう、心をひとつに力を合わせる「和衷共済」を胸に全力を投じてまいります。

市民のみなさまにおかれましては、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。令和7年度施政方針の結びとさせていただきます。

いっぺーにふえーでーびる。

令和7年2月10日  
那覇市長 知念 覚

